

核兵器禁止条約参加・批准こそ平和への道

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めよう

核兵器禁止条約の会議に傍聴すらしない日本政府

核兵器禁止条約の第2回締約国会議（11/27～12/1）が、国連本部で開催されました。日本政府は禁止条約を「核兵器のない世界への“出口”とも言える重要な条約」としながら、会議に傍聴（オブザーバー）参加すらしませんでした。“入り口”にすら立とうとしない姿勢に、被爆者からも強い批判の声が上がっています。

核兵器のない平和で公正な世界実現を

ロシアが核兵器使用の威嚇を繰り返しながら、ウクライナ侵略をつづけています。そして、パレスチナ・ガザ地区へのイスラエルの無差別報復攻撃が連日報道されています。軍事力の強化では、決して平和は訪れません。核兵器の使用はもちろん、その威嚇も許してはなりません。唯一の被爆国、平和憲法をもつ日本政府はいまこそ、核兵器の非人道性と国際秩序、紛争の平和的解決を、率先して世界に訴えるときです。核兵器禁止条約に一刻も早く参加しなければなりません。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。（2023・12・6）



「軍事費」2倍で、ステルス増税&暮らし・福祉・教育にもさらなるシワ寄せ

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」ページQRコード



国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4
TEL 03-5842-6031 HP: <http://www.antiatom.org>
E-mail antiatom55@hotmail.com